



「台風一家」 (はざま隆治)

スが手に取るように分かる。国世論調査によると、全ての世代が情報源としての信頼度はメディアの中で新聞が最も高かった。まだまだ新聞の果たす役割は大きいようだ。

私が初めて新聞を読んだのは1958年、小学5年生の時だ。この年は国民的スター選手だった長島茂雄さんがプロ野球の巨人軍に入団し、相撲は栃錦、若乃花の全盛時代で人気を博していた。2人の勝負の結果をいち早く知るため、もっぱらスポーツ面を読んだものである。しかし今では1面から順序よく全ての面をくまなく読んでいる。

うだる

(うるま市、非常勤講師)

日本の外交
北朝鮮―強腰
米国―弱腰
―沖縄県民
日本政府殿
(北部・山原カラサ)

インターネットやテレビに押されて、若年層の活字

を高めるといわれは「緩慢な殺人えないか。殺人、行など米兵は凶悪去に何度も犯して度夜の外出禁止された。米軍機にも夜



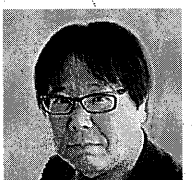
強化を

止令を出すべきだ。でもこのように米人のように振る舞うと、基地内は米軍の都合で運用と思わざるを得ないのNHKスベシ

ヤル「沖縄と核」によると、護しているからだ。その政府返還まで1300発の核兵器が沖縄に貯蔵されていたといさせない限り、沖縄の未来は明るくない。自らの足腰を強くするシンポジウムが11月3日午後2時から沖縄市産業交流センターで開催される。「ウチナーンチュにとつて

自「決定権とはどういう権利か」。講師はアジア先住民族会議の当真嗣清氏。「自営の尊厳―自立経済と創業スピリッツ」と題し技術経営修士の照屋隆司氏が講演する。自己決定権と産業振興に向けて沖縄の底力の強化に向け皆で考えたい。

なぜ県民は数々の被害にさらされているのか。日本政府が戦後72年たっても米軍の自由を日米安保、地位協定で保



東恩納 厚

東恩納組 代表取締役会長

目覚めると、部屋中に淡い光が満ちていた。薄雲を纏った月が、窓越しに見える。片雲の風に誘われた旅路の芭蕉も、この月を眺たのであろう。

私は、決まった時間に覚醒し机に向かう。昨年より、建築の勉強を始めた。

近頃やっと、建築が分かるようになってきた。他の学問同様に、建築学も奥が深く、一朝一夕で身に付くものではない。教科書を読み、実際の経験を踏まえて確かな智識になる。

私は、自身の為のみでは無く、社員の為に勉強すること。率先垂範し背中を見せることが、何よりの教育だと考えている。

「私達は、建築業に従事しているが、人を育て人を残すことが仕事である」と私は、常々役員に言っている。

そして私は、医師の経験を踏まえて、医療の心と思想を経営に活かしたい。

弊社では、週に1回全社員を集めICC (Intens

南風

人を育てる

ive Construction Conference) と称した会議を行っている。

各代理人が、工程表や設計図書等を用いて現場の現況及び予定を報告する。そして、全員で問題点を解決し成功事例は共有する。それは、若い社員の教育の場となる。

また、週3回は、私と吉平専務が現場を回り教育と技術指導を行う。更に週2回は、喜納社長と玉城常務が現場に行く。

正しく人を守り心地よく美しい建築物を創ることは、当然である。その上に、私達には使命がある。

人を育てることは、牛の歩みの様に一足一足と進むが如く時間を要する。

私達は、人を育て人を残す者が在りたい。財を残すは下されど財なくんば事業保ち難く事業を残すは中事業なくんば人育ち難し人を残すは上なり

新平

投稿規定 声・ネットワーク400字、論壇1000字、ティータイム600字。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。〒900-8525 那覇市天久905。原稿は琉球新報社オピニオン係に郵送。ファクス098(865)5234、メールkoe@ryukyushimpo.co.jp 問い合わせは同係☎098(865)5175。他紙との二重投稿は厳禁。掲載の可否についての問い合わせには応じかねます。「うそっぱち」は社会部ファクス098(865)5222。